



# 福井県立丸岡高等学校の 地域との連携・協働による新しい高等学校づくり



# 【構想概要】

## 持続可能なふるさとの豊かな営みを創出するグローバル人材の育成



### 目指す人材像

グローバルな視点を持ち、地域の活性化に資する人材

身に付ける  
資質・能力

- 地域や世界と関わりながら、自分で考え、主体的に責任を持って行動できる力
- 多文化共生社会をめざし、外国人と協働して課題を発見し解決できる力
- 世界的な視野で地域の資産を生かして、新しい産業を生み出す起業力

### これまでの先進的な取組み



高校生議会

海外での研究発表

バイリンガル観光ボランティア 市民講座企画

発展  
全学  
年で  
実施

### 2019年度からの取組み

保・幼・小・中・高の一貫した探究学習

海外高校生との国際協働探究学習

地域・行政・企業等と地域の課題解決

学校設定科目「グローバル英語・社会」

### 丸岡高校が描く未来

- ◆ 5年後  
地域住民が主体的に町づくりに参加
- ◆ 10年後  
新幹線効果で観光発展  
外国人観光客増
- ◆ 15年後  
若手起業家誕生  
新しい産業 人口増

### 主な予定

- 2019.7 日本語学校と交流
- 8 タイ国ヘスタディーツアー
- 10 ウィキペディアタウンin丸岡  
丸岡古城祭りへ企画参加
- 12 台湾研修で現地調査・発表  
お城EXPO2019に参加・発表
- 2020.2 県教育総合研究所で発表  
坂井市議会で発表  
福井大学ラウンドテーブル
- 3 小中高連携丸岡城サミット  
運営指導委員会
- 8 生徒国際イノベーション  
フォーラム2020で発表  
タイ国ヘスタディーツアー
- 10 丸岡古城祭りへ企画参加
- 12 台湾研修で現地調査・発表
- 2021.3 小中高連携丸岡城サミット
- 12 台湾研修で現地調査・発表
- 2022.2 福井大学ラウンドテーブル

### 地域や海外との協働による取組

#### 人材育成モデル

目指す  
人材像

社会と関わりながら自分で考え、主体的に責任を持って社会を変えていける  
グローバルリーダーの育成 (Agency)

3年生

持続可能な社会をめざし、グローバルな視点で地域を担える生徒の育成

2年生

ローカルで行動できる生徒の育成

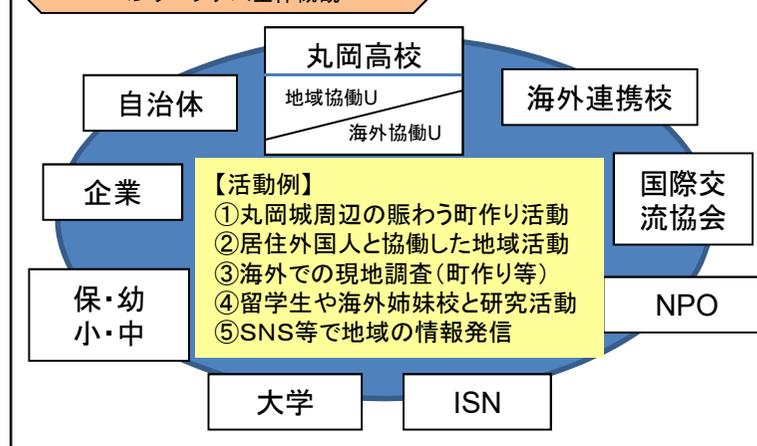
1年生

グローバルな視点で考える生徒の育成

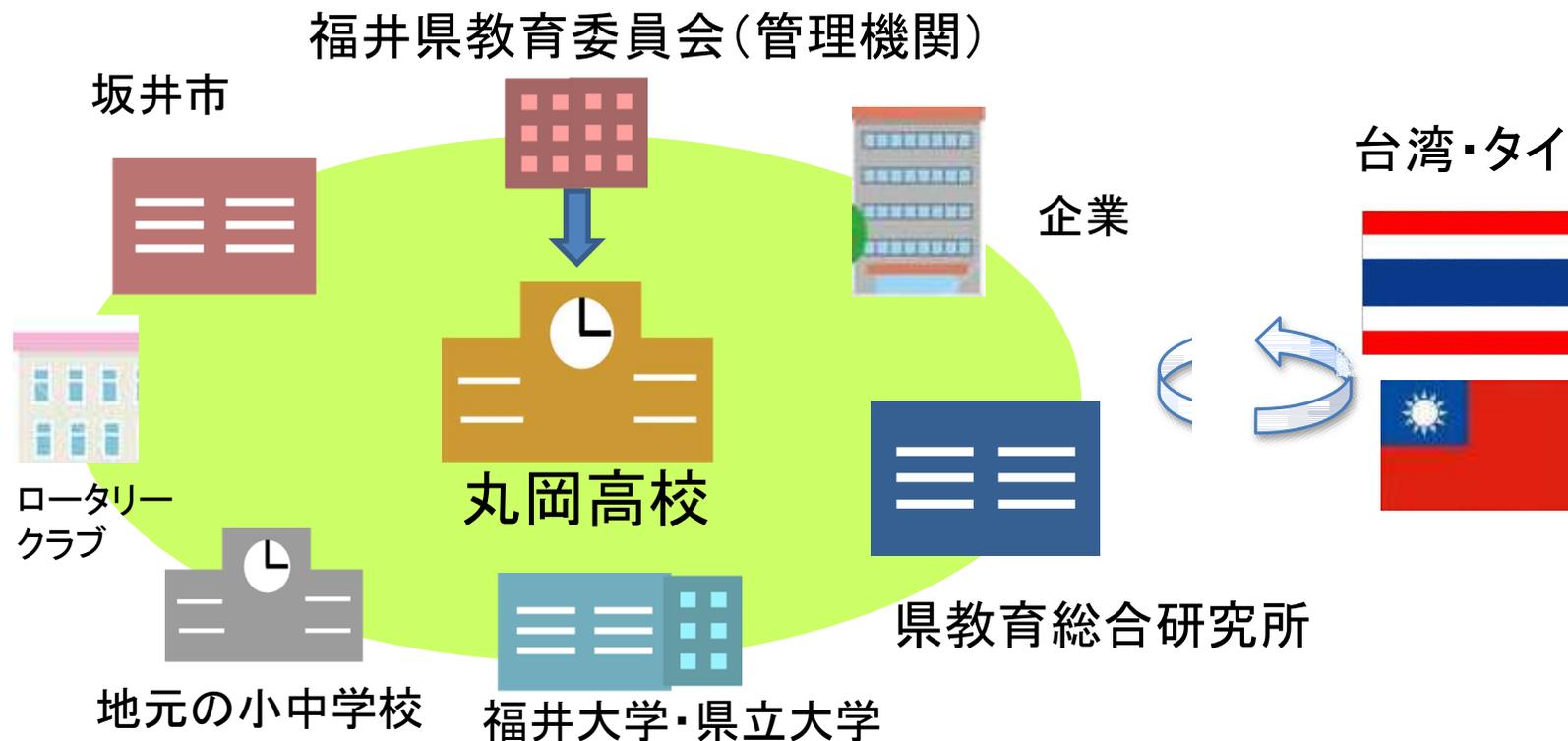
#### 課題解決のためのコンソーシアムとの協働

1. 地域の課題を行政・企業・NPO等が学校と連携し協働して解決していく。
2. 地域課題の解決のために生徒が海外連携校等の様々な主体と協働しながら取り組む。
3. 課題解決に必要なカリキュラム開発は教職大学院と連携し推進する。
4. スタディー・ログ等のポートフォリオとして収集されたデータは、生徒の資質向上の効果測定のために、大学の研究者が分析する。
5. 本校で学ぶ留学生の生活や語学学習をコンソーシアムが支援する。

### コンソーシアム全体概観



# 公(自治体)・民(企業・地域)・学(学校)が連携した取り組み



- 企業・自治体・地域と高校が、アズAS☆という連携組織を構築(会長は市長)
- 県教育総合研究所から丸岡高校に指導主事を派遣し研究支援
- 福井大学連合教職大学院に現職の教員を院生として派遣
- カリキュラム開発専門家・海外交流アドバイザー・地域協働学習支援員の配置

# グローバル① 【海外研修や国際交流】



タイ国へのスタディーツアー



台湾研修



台湾の高校と国際交流



留学生とのそば打ち

# グローバル②【地域・行政・企業等と地域の課題を解決】

議会塾 PTAと市議会とのコラボ企画



高校生議会で提案



地元企業の見学



公民館で地域の課題を取材

# グローバル③ 【地域貢献活動・地域での探究学習】

地域貢献活動(シャッター制作)

地元の祭りでボランティア



丸岡城サミット(小中高連携探究学習)

丸高カレッジ(市民講座)

# グローバル④ 【Mプロジェクト(総合的な探究の時間)】

「地域の宝を探せ」フィールドワーク

地域の人への取材报告会



異文化交流(書道体験)



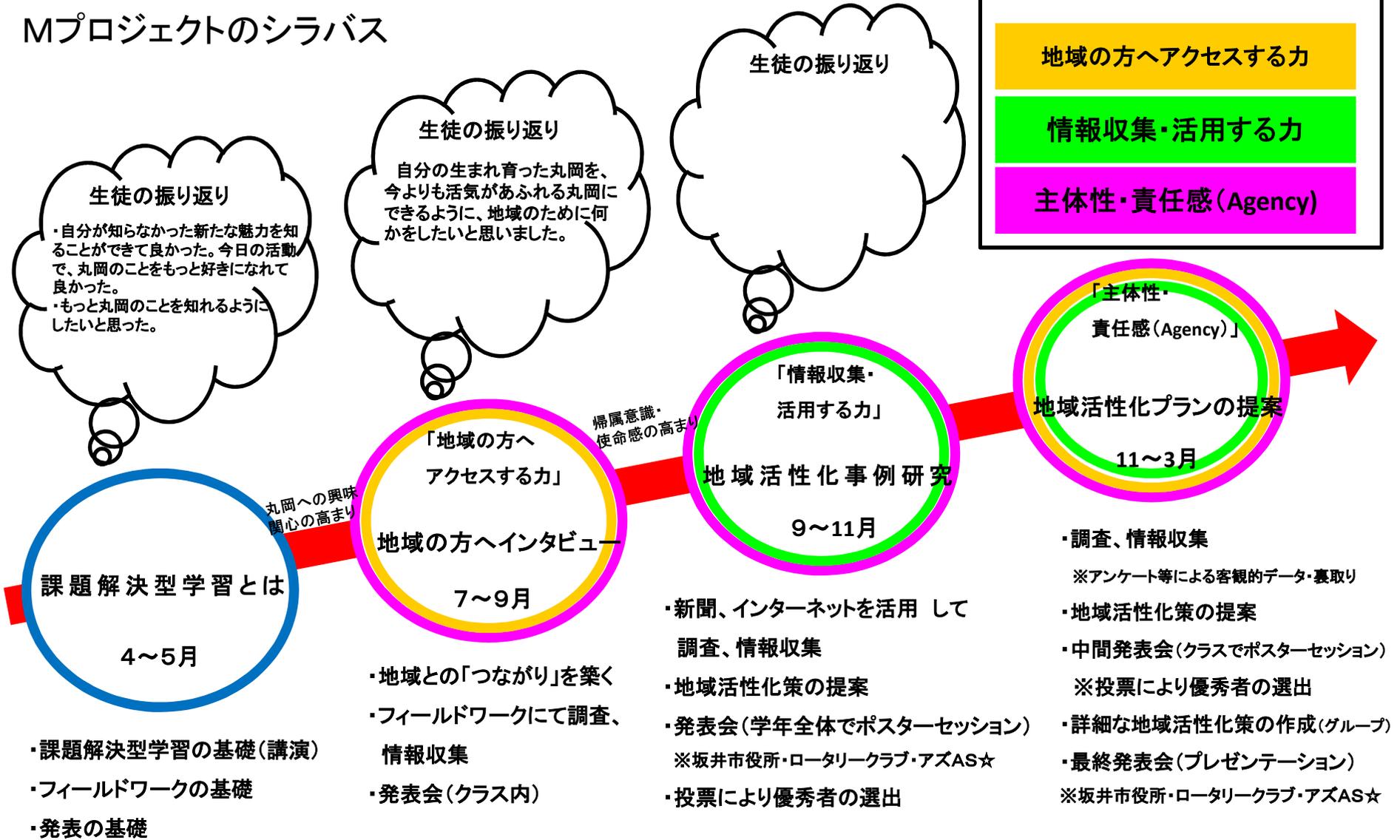
異文化交流(日本の絵本紹介)

# 第一学年 総合的な探究の時間

## Mプロジェクトのシラバス

**第一学年次で育てたい  
コンピテンシー(資質・能力)**

- 地域の方へアクセスする力
- 情報収集・活用する力
- 主体性・責任感(Agency)



## グローバル⑤ 【カリキュラムの刷新】

### 1. グローカルスタディー英語（1単位） 2年

地域の自然・歴史・文化等の地域の特色を外国人観光客や海外に向けて説明や発信できる英語力を育成する。

地元のロータリークラブと一緒に  
SDGsの取組み

→ 持続可能な社会を目指す。



ロータリークラブの方との授業の様子

次年度の3年生では、グローバルスタディー社会（1単位）

2030年問題として指摘されている少子高齢化、産業振興、観光、環境、エネルギーなどの地域の諸課題を、主権者として解決する能力を高め、新しい時代に求められる資質・能力を育成する。

## グローバル⑥ 【新設 地域協働部】

※令和元年度入学生より、「**地域貢献・国際交流**」の特色選抜を実施  
生徒の受け皿として**地域協働部**を新設。**地域協働室**も設置

①校内にそば道場新設

地域のそば名人の指導で全国そば打ち選手権出場

②地域の情報をウィキペディアで編集・発信開始

県内在住外国人20名とウィキペディアの多言語化 10か国語

③関西の大学生と地域課題についての合同合宿

④坂井市の情報をインスタで発信



新設された校内の  
そば道場



地域アドバイザーとの活動  
の様子



生徒が活動する  
地域協働室

# グローバル⑦ 【教員の授業向上】



評価についての校内研修会の様子



丸岡高校のSWOT分析研修会の様子

## JKB通信 第2号

Juuyoukyoku Koujyou Benkyoukai

平成30年10月16日発行



平成30年9月27日(木)に第2回JKBを実施しました!  
当日は、お忙しいにもかかわらず、授業の合間を縫って参観していただくなど、誠にありがとうございました。放課後の勉強会では、今回は少人数だったのですが、思考力・判断力・表現力を育む課題について、話し合いました。

### 小林先生の授業

「伏線回収型学習(小林先生作)」  
乾燥剤・気体の捕集法・発生方法を知識として持ち、(伏線)それを使って課題をクリアしていく学習。課題の答え合わせでその伏線を回収するという学習法

### ☆レクチャー

ICT機器を活用し、小さな問いを重ねながら、テンポ良く知識の確認をする授業展開



### ☆協働学習・発表

最初は個人で考える時間を確保することで、自分の意見を持つようにする。その後、ホワイトボードを使って生徒が意見交換しながら考えをまとめていく。

☆授業の振り返り グーグルのアンケート機能を用いた振り返り。



授業内容の達成度を確認するための問いと、協働学習への自身の取り組み方を見直すための問いがある。

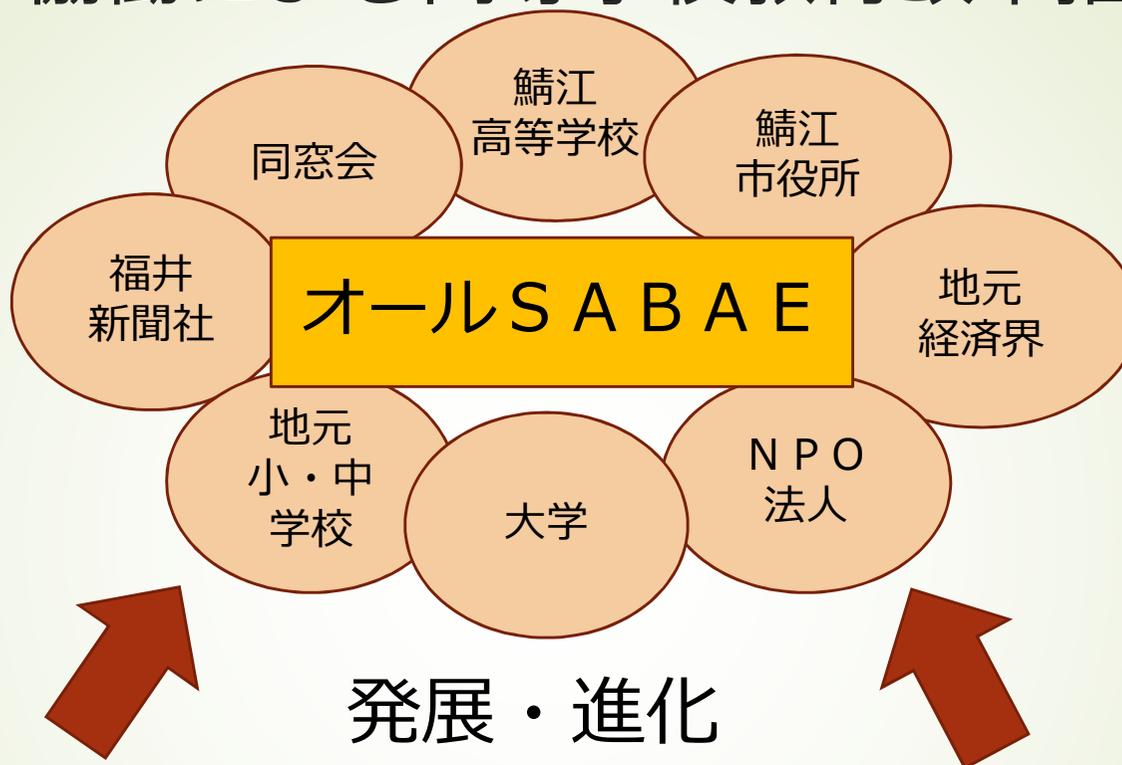
### 放課後のKB

参観者は、今回の生徒の学びは「気体を発生させるときには、危険だから、液体+液体はダメ」というものであり、よく理解できていたという意見が多かった。しかし、小林先生は、その点が強調されすぎたため、協働的に解決できたかという学習態度に関する目標が落ちてしまったという感想だった。

そこで、その授業内の目標として、「化学の目標」と「化学を通して身に付けさせたい、卒業後社会で役立つ力」の2点は別物として考えるべきでは・・・という話し合いがなされた。



# 地域との協働による高等学校教育改革推進事業



鯖江市デジタルパンフレットの作成



地域活性化プランコンテストへの参加



# 地域との協働による高等学校教育改革推進事業

具体的に何をするのか？

- 地域資源、地域人材、地域教材などを全科目の授業で活用 → 学校全体で授業改善
- 多様な大人と接することで生徒の意識を刺激 → 開かれた学校づくり

鯖江型高校教育「オールS A B A E」の形成



## クッキング部の活動



# 出前講義



## 世界津波の日高校生サミット



# 子どもの発達と保育

